

【解答例】

I

設問 1	2	設問 2	3	設問 3	5	設問 4	4	設問 5	1
設問 6	5	設問 7	5	設問 8	4	設問 9	3	設問 10	2
設問 11	1	設問 12	1	設問 13	4				

II

設問 1	5	設問 2	3	設問 3	1	設問 4	4	設問 5	2
設問 6	1	設問 7	3						

設問 8 幕末にコレラが外国から持ち込まれてきたことを踏まえて、内務省は、開港後に居留地が置かれて来日外国人も多かった主要貿易港の所在する県で、避病院を設けるなど水際での検疫を重点的に強化して感染の拡大を食い止めようとした。しかし、西郷隆盛を首領とした不平士族により西南戦争が起きると、徴兵制によって召集された兵士が全国から九州に送られ、そこで感染した者たちが帰郷していく過程で感染が全国に広がることになった。(200 字)

III

設問 1	3	設問 2	6	設問 3	4	設問 4	3	設問 5	1
設問 6	2	設問 7	1	設問 8	5	設問 9	3	設問 10	4
設問 11	3	設問 12	4	設問 13	2				

IV

設問 1	6	設問 2	2	設問 3	3	設問 4	3	設問 5	5
設問 6	4	設問 7	2						

設問 8 帝国議会の衆議院・貴族院の権限は対等で、法案の成立には両院での協賛が必要となる。(ア)の時期は、衆議院で多数の議席を占める立憲政友会の総裁西園寺公望と、山県有朋の後継者で貴族院に影響力をもつ桂太郎が協調したため、政府提出法案が成立しやすかった。一方(イ)の時期には、翼賛選挙で政府に援助された推薦候補が衆議院で多数当選して翼賛政治会を結成しており、勅選議員などからなる貴族院とあわせて法案が成立しやすかった。(200 字)